

地域医療の現場から



セコメディック病院 眼科

戸來透

最近、世界11ヶ国を対象として、目の健康に関する大規模調査が行われ、その中で生活の質に影響する因子として「視力喪失」が最も重要という結果が得られました。

そこで、目の健康についての知識や理解度を国別に比較してみたところ、日本は最下位でした。逆に目の検診は自分には該当しないと答えた人は、11ヶ国中最多となりました。

検診を受けない理由としては、時間がない、自覚症状がなければ大丈夫、といった理由を挙げる人が多いようでした。

ところで、失明の原因としては何が多いのでしょうか？ 世界規模でみると白内障が1位で、2位が緑内障、3

「あなたの目は大丈夫？」

が欠けてくる病気です。自覚症状に乏しく、気づいた時にはかなり進行していることが多いため、別の症状で眼科を受診した際に偶然発見されるケースが多いのが実情です。眼圧の正常値は21mmHg以下

位が加齢黄斑変性です。日本では緑内障が1位で、2位は糖尿病網膜症、3位は網膜色素変性です。

緑内障は眼圧が高くなり視神経が圧迫され、ダメージを受けることによって徐々に視野

ですが、日本人では眼圧が高くない正常眼圧緑内障が最も多く、眼圧が正常だからといって安心はできません。

失明原因2位の糖尿病網膜症も、自覚症状が出てから眼科を受診した時には進行した状態で見つかることの多い病気です。重

症度を分類すると、網膜血管の細動脈瘤や小さな出血点が存在する単純型、網膜細血管網が閉塞し虚血状態に陥った部位が多在する前増殖型、新生血管が発生し、出血を繰り返して線維増殖膜形成、網膜剥離まで進行する増殖型に大きく分けられます。視力そのものは増殖型であっても比較的良好なことも多く、発症初期には自覚症状が乏しい特徴があります。

このように、日本では失明原因の1位、2位に挙げられる疾患が「自覚症状に乏しい」という特徴を持っています。

これでも、まだ「自覚症状がなければ目は大丈夫」と言えるでしょうか。一度眼科検診を受けてみてはいかがでしょうか。また、少なくとも1年に1回は眼科検診を受けましょう。